

『誰もが出歩くのが楽しくなるまち』をめざして

平成21年度交通まちづくり懇話会参考資料(H21.10.16)

主にこんなことに取り組んでいます

●交通事故を未然に防ぐために

交通事故防止を図るため、平成20年度注意看板を73カ所、路面シートは63カ所に設置しました。

カーブミラーは、450ヶ所の修理・新設を行いました。設置等は土木管理事務所で行っています。市で管理しているカーブミラーは2,999基です。

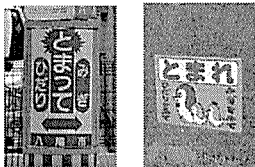
他にも、市道の修繕やガードレールの修繕も行っています。ガードレールの修繕は、のべ302m行いました。

また歩道は、八尾第432号線(桜ヶ丘)をはじめ市内で740m設置・改良し、市道第222号線(東山本新町)では、転落防止柵を設置しました。

その他、小規模補修工事も行っています。

☆参考 現在信号機は、市内309ヶ所に設置されています。

(平成20年度の新設は、市内1ヶ所。府下全体では44ヶ所)しかし、注意看板やガードレールはあくまで補助的なものであり事故をふせぐのは、一人ひとりの“交通安全”の意識が一番大事です。



巻き付け看板 路面シート



カーブミラー

<数字は平成20年度>

●交通安全への意識を高めるために(さまざまな啓発活動)

「春・秋の全国交通安全運動」をはじめ、「めいわく駐車追放府民運動」、「夏・年末の交通事故防止運動」期間中などに、多彩な行事や事業を積極的に実施しました。また、園児や児童、高齢者の方などを対象にした交通安全教室を69回開催し、10,176人が参加されました。



市内の公・私立幼稚園26園でつくる「母と子の交通安全クラブ連合会」(事務局交通対策課)の取り組みとして、母と子の交通安全大会の開催や交通安全キャラバン隊による幼稚園7園への巡回を実施し、交通安全の啓発に努めました。参加合計1,539人。

八尾警察署や八尾市交通安全協会との連携で

「自動車運転者講習会」	… 12回	2,078人
「高齢者自転車競技大会」	… 1回	24人
「自転車街頭キャンペーン」	… 3回	1,200人
「めいわく駐車パトロール」	… 4地区・8回	117台指導
「全国交通安全運動啓発キャンペーン」	… 2回	620人

等を開催しました。 <数字は平成20年度>



交通安全教室

●住みよい交通環境づくりにむけて

☆ 放置自転車について

放置禁止区域内の自転車の移動・保管を行っています。

(現在近鉄久宝寺口駅、八尾駅、河内山本駅、高安駅、恩智駅、JR久宝寺駅、八尾駅、志紀駅、地下鉄八尾南駅周辺で禁止区域を定めています。)

▼ 平成20年度の実績

移動回数	1,877回、	移動台数	9,589台
返還台数	5,441台、	返還率	56.7%

自転車駐車場をご利用ください。

現在公共自転車駐車場は23ヶ所(市営3ヶ所)・仮設自転車駐車場1ヶ所です。

▼ 平成21年10月に放置禁止区域内の固定式看板盤面を、112枚新しいものと交換しました。



放置自転車であふれる河内山本駅前

☆ 鉄道駅舎のバリアフリー

平成20年12月より河内山本駅大阪線ホームへのエレベーターが上下線とも供用開始されました。市はその工事費の一部を補助しました。同駅のエレベーターは、合計5基になりました。

エレベーター未設置の高安駅及び周辺道路等のバリアフリー化整備に向けて、平成21年3月に『近鉄高安駅周辺地区バリアフリー基本構想』を策定しました。

10月末から高安駅のエレベーター設置他バリアフリー化工事が始まる予定です。



高安駅でのバリアフリー化

●市民のみなさまと一緒に取り組みます…“交通まちづくり”をめざして

平成18年3月に策定した『八尾市交通基本計画』に基づき「交通まちづくり」を推進しています。市全体の交通まちづくり懇話会を継続して開催するとともに、地域の声をお聞きし地域の交通課題と一緒に考える取り組みも行っていきます。

また、このような取り組みを通じて八尾市に必要な交通のあり方を整理し、効果的な交通体系についても検討します。

▼ 地域などでの自発的な活動にも参加しています。

<事例>

- ・曙川・曙川東・刑部地区合同交通安全キャンペーンに参加しました。
- ・用和地区迷惑駐車パトロール(モデル地区)に8回参加しました。
- ・ちゃりんこバスターズに参加しました。
- ・上之島地区福祉委員会主催の地区懇談会で交通安全講座を行いました。
- ・八尾第三地区福祉委員会主催の交通安全教室で自転車安全大会を行いました。 <数字は平成20年度>



自転車安全大会